

福井工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	ドイツ語
科目基礎情報						
科目番号	0117		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『新生ドイツ語文法 V 6』（朝日出版社）					
担当教員	廣重 準四郎					
到達目標						
辞書と教科書を参照すれば初級前半に相当するドイツ語の文章が訳読でき、ドイツの歴史や伝統、文化に関心を抱くことができ、提示された課題等に意欲的に取り組めること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	辞書と教科書を参照すれば初級前半に相当するドイツ語の文章が十分に訳読できる。		辞書と教科書を参照すれば初級前半に相当するドイツ語の文章がほぼ訳読できる。		辞書と教科書を参照しても初級前半に相当するドイツ語の文章の訳読が極めて不十分にしかできない。	
評価項目2	ドイツの歴史や伝統、文化に大いに関心を抱くことができる。		ドイツの歴史や伝統、文化にある程度関心を抱くことができる。		ドイツの歴史や伝統、文化にほとんど関心を抱くことができない。	
評価項目3	提示された課題等に極めて意欲的に取り組むことができる。		提示された課題等にある程度意欲的に取り組むことができる。		提示された課題等にほとんど意欲的に取り組むことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 RA1 JABEE JA1						
教育方法等						
概要	入門篇として、最低限必要な文法知識の修得を目指す。同時に、学生がドイツ語に親しみ、かつそのその学習を通じて、ドイツ語文化圏の特徴を把握する異文化理解力獲得のための手がかりを得ることも目標とする。					
授業の進め方・方法	1年を通じて、初級文法の前半を教科書にそって学習する。文法の解説を中心としつつ、録音テープなどによる聴き取りや練習問題も随時取り入れる。					
注意点	暗唱などの課題は必ずクリアーすること。 成績評価は4回の定期試験の結果のみで行う。なお、各定期試験の評価割合はすべて25%とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業概要・発音（1）		アルファベートの読みができる。	
		2週	発音（2）・ドイツの地誌と歴史		注意すべき綴りの発音ができる。ドイツの地誌と歴史が理解できる。	
		3週	動詞の現在人称変化（1）		規則動詞を現在人称変化させることができる。	
		4週	動詞の現在人称変化（2）		規則動詞のうちの口調上の例外が理解できる。	
		5週	名詞と冠詞（1）		名詞の性の仕組みが理解できる。	
		6週	名詞と冠詞（2）		名詞の格の仕組みが理解できる。	
		7週	名詞と冠詞（3）		名詞を格変化させることができる。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	冠詞類（1）		定冠詞類付きの名詞を格変化させることができる。	
		10週	冠詞類（2）		不定冠詞類付きの名詞を格変化させることができる。	
		11週	動詞の現在人称変化（3）		不規則動詞を現在人称変化させることができる。	
		12週	命令形		2人称の種類に応じて命令形を作ることができる。	
		13週	前置詞（1）		2格支配、3格支配、4格支配が理解できる。	
		14週	前置詞（2）		3・4格支配が理解できる。	
		15週	学習のまとめ		前期中の学習内容が理解できる。	
		16週	前期期末試験			
後期	3rdQ	1週	前置詞（3）		前置詞と冠詞の融合形が理解できる。	
		2週	名詞の複数形（1）		名詞の複数形の種類が理解できる。	
		3週	名詞の複数形（2）		名詞の複数形を格変化させることができる。	
		4週	形容詞の格変化（1）		形容詞を3通りに格変化させることができる。	
		5週	形容詞の格変化（2）		名詞化された形容詞を格変化させることができる。	
		6週	既習事項の復習		後期前半の授業内容が理解できる。	
		7週	後期中間試験			
		8週	人称代名詞		人称代名詞を格変化させることができる。	
	4thQ	9週	話法の助動詞（1）		話法の助動詞を現在人称変化させることができる。	
		10週	話法の助動詞（2）		話法の助動詞の用法が理解できる。	
		11週	話法の助動詞（2）		話法の助動詞に準じる動詞の用法が理解ができる。	
		12週	不定詞句		不定詞句の形と用法が理解できる。	
		13週	未来形		未来形の用法が理解できる。	
		14週	聴き取り練習		ビデオ教材の録音テープ版での単語の聴き取りができる。	
		15週	学習のまとめ		1年間の学習内容が理解できる。	
		16週	後期期末試験			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。	3		
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0